

12/25 3.78

消費者物価指数 27カ月連続上昇

11月、2.5%

総務省が22日発表した11月の全国消費者物価指数(2020年=100、生鮮食品を除く)は、前年同月比2.5%上昇の106.4だった。上昇は27カ月連続。食料品の値上げの一服感や電気・都市ガス代の下落を背景に、伸び率は10月の2.9%から縮小した。縮小は2カ月ぶり。

財(モノ)とサービスに分けた指数では、サービスの上昇率が2.3%となった。消費税増税の影響を除くと1993年10月以来、30年1カ月ぶりの高水準。人件費の上昇などが影響した。生鮮食品を除く財の上昇率は2.7%だった。

物価指数の項目別では、宿泊料が62.9%上昇と比較可能な7年以降で最大の上昇幅だった。旅行需要の強さに加え、人件費増加を料金に反映する動きがあった。前年に政府の旅行支援策で料金が下がっていた反動もあった。

生鮮食品を除く食料は6.7%上がった。伸び率は3カ月連続で鈍化。リンゴが31.3%、ネギが29.0%など上昇が目立った。